

博士課程教育リーディングプログラム 平成28年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
機関名	京都大学	全体責任者（学長）	山極 壽一
類型	複合領域型（生命健康）	プログラム責任者	上本 伸二
整理番号	I01	プログラムコーディネーター	福山 秀直
プログラム名称	充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム		

＜プログラム進捗状況概要＞

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムでは、高齢化社会が抱える問題を俯瞰し、Ⅰ。工学技術を医療・支援システムへ適用し、Ⅱ。医学の中に蓄えられた知識を工学に活用するという2方向から、具体的な解決法を創案し、充実した健康長寿社会の構築に向け推進することの出来る「総合医療開発リーダー」を、異分野の研究者を組み合わせた産学横断的な教育プログラムにおいて組織的に育成することを目的とする。これらの目的を達成するため、大学本部が総力をあげて運営に関与し、多部署の教員・研究員が協同して効率的に教育・研究指導・人材育成に参画する体制を整備する。さらに、これまでの縦割りの医工学の教育を見直し、医学・工学・薬学・理学・経済学等の専門家が協力し、研究科の枠を超え真に融合した医工学教育を実現するよう大学の改革を推進する。

2. プログラムの進捗状況

平成28年度は新規履修生12名（内2名が外国人留学生）が合格し、全履修者数は33名となった。また、L2履修生に研究基礎力（QE）審査を実施し、5名が合格した。以下、交付申請書に対応したプログラムの進捗状況を示した。①LIMSの活動・成果の記者発表により、新聞2紙に掲載された。オープンキャンパス・研究発表会等で、LIMSの活動・成果を内外に発信・意見交換した。②メンター希望調査、最先端機器演習の開講、医療工学特別講演会の実施等、カリキュラムの充実を図った。医学・薬学研究科4年制博士課程4名を履修生として受入れた。フォローアップアンケートおよび自己点検・自己評価を実施した。③自発的研究活動支援のため履修生21名に研究活動経費を、また奨励金を31名に支給した。④見学・体験型ローテーションを実施、国内医療産業2社・海外基礎研究5機関と協力し計7名がインターンシップを実施した。⑤研究能力向上のため、履修生7名を2カ国の国際会議へ派遣した。⑥人体解剖学、医療経済学等全39科目を開講、延べ114名が登録・受講した。12企業からの外部講師による医療工学特別講義、医療工学特別講演会、英語による講義（生理学）を実施した。最先端機器演習ではL1、L2全履修生が述べ70コースを履修した。⑦産学交流大学院研究発表会・フォーラム等で履修生12名が企業関係者と意見交換した。⑧ホームページをSNSに連携する等、履修希望者に訴求する形に改編、電子媒体での願書配付やオンライン選抜を実施した。

（機関名：京都大学 類型（領域）：複合領域型（生命健康） プログラム名称：充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム）